

「関西ビジョン2020」の公表

【下妻会長ご挨拶】

昨年10月、関経連の「100日タスク」の検討結果として、「強い産業の実現」、「アジアとの共生」、「地域の自立」の3つに活動の重点を置いて、今後の活動を推進していくことを決めた。これをベースに今年度の事業計画を策定し、関西が目指すべき将来ビジョンを策定していくことを打ち出した。

それを受けて今年5月、本日ご出席の京都大学吉田先生を座長に研究会を発足させ、関西で活躍する中堅・若手、外国人の有識者の方々にも参画戴いて集中的討議を行い、さらに副会長をはじめ関経連の主要メンバーで活発に議論してきた。

そして本日、概ね10年先の2020年を念頭に置いた「関西のありたき姿」と、実現の取り組み等を盛り込んだ本ビジョンを公表させて戴くことになった。改めて吉田先生をはじめ策定に携わっていただいた方々に感謝申し上げます。

後ほど、吉田先生や事務局からお話があると思うので、内容の詳細は控えるが、やはり、関西の「新たな発展」には、まずは夢がないと実現もあり得ないので、若い世代を中心に「ありたき姿」という大きな絵を描いていこうということ。その中で、関西の持つメリット・デメリット全部を勘案した上で、その中で固有の「突破力」を発揮するような関西になりたいというのが本ビジョンの骨子である。

現在、大阪府・大阪市などの自治体ではそれぞれビジョンを策定中と聞いている。大阪府については、寺田副会長を含むアドバイザーボードのメンバーや、府担当の副会長方も一緒になって、いろいろな意見を申し上げて、できるだけ本ビジョンを盛り込んでいただいた府のビジョンを策定いただけるよう働きかけをしている。

また、大阪市についても同様であり、大阪府・市という自治体のビジョンに、本ビジョンの内容が出来る限り反映されることになれば、また、大きな一石を投じることになればありがたい。さらには、本ビジョンをベースに、企業・行政・NPOはじめ各界が一丸となって関西の「新たな発展」につながることを期待している。マスコミの方々には、広く各界の方々への情報発信をお願い申し上げたい。

徳田次長：関西ビジョン2020説明（略）

吉田座長：10年強先の2020年の関西の姿を描こうと検討を始めた。関西の地盤沈下は言われて久しいが、関西には潜在力があるのに、発揮されていないという問題を、どうすれ

ばよいか考えてきた。これまでに多かった対東京を意識し、関西ではどの分野を追求すればいいのか、という考えだけでは不十分である。そこで、「突破力」をキーワードに、関西から世界を変えるという視点が必要となった。突破力の背景には、「関西スピリット」がある。「関西スピリット」を共有することで、関西のビジネスパーソンが心を共振させて、問題を突破する。現在の経済情勢は厳しく、将来的にも少子高齢化といった問題を抱えている中、突破力で乗り越えていくことである。ビジネスパーソンの心を一つにし、関西を作り上げ、世界を変えていこうと議論をまとめた。そうやってまとめたアクションプランを関経連が実行し、また、関係先に働き掛けて現実化していくことを期待している。

以上